ICHIKAWA INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION NEWS　市川市国際交流協会会報

I.I.A.ニュース

No.63
2017.3.16

IIA設立15周年記念
祝賀チャリティーパーティー開催

2001年のIIA設立から2016年2月で15年が経過しました。もう15年か、まだ15年か、思いはいろいろですが、中身がギッシリ詰まった15年と言えます。多くの行事、出来ごとなどの記憶と記録は年月の流れの中でやがて消えていきます。15年をマイルストーン（一つの区切り）として、この機会に過去を整理し、将来への新たな一歩にしたいとの会長の強い意志もあり、記念誌の発行と祝賀会の開催となりました。（関連記事は次ページに掲載）

挨拶する大久保市川市長

熱気あふれるパーティー

表彰式で受賞された方々

◆もくじ◆

P2・・ IIA設立15周年記念誌発行、祝賀パーティー
　　イッシー市委員会最近の活動
P3・・ アンクルンってきれいな音色を出すんだね　他
P4・・ 日本語教室レポート　つくって食べよう世界の料理
P5・・ IVISオープンセミナー「健康な歯と身体の関係」
　　インド共和国の大学生！ようこそ市川市へ
P6・・ 新年イベント花盛り　グローバル新年パーティー　他
P7・・ わたしの母国、わたしの市川　インド
P8・・ 2017年度IIA総会案内　パインツリー10周年チャリティー茶会

編集･発行：市川市国際交流協会広報委員会
発行責任者：篠原　剛
〒272-0021
市川市八幡2-1-7　第一藤ビル２Ｆ（新住所）
Phone:　047（332）0100
Fax:　　047（332）0101

email:　info@iia21.jp
URL:　　http://www.iia21.jp

IIA設立15周年　記念誌発行

15年のあゆみを写真主体にまとめるというコンセプトのもと、編集に携わった篠原委員長、逸見委員、山本委員の3人を中心に各委員長、広報委員、会員、市国際交流課の協力を得ながら編集作業が始まりました。写真の収集、年表の正確性、歴代役員の変遷など多くの時間と労力を必要とした課題をクリアーし、全24ページの記念誌が完成しました。

会長、市川市長の巻頭の言葉に始まり、海外提携都市の市長等の祝辞、IIA発足の経緯、各委員会の紹介、15年のあゆみ、運営者の将来へ向けてのコメントそして資料・統計（市川市の人口、外国人在住者の推移、IIA役員と会員数の推移など）の内容となっています。記念誌は会員に1冊配布されます。この小誌が、会員の皆様の座右に置かれ、末永く読み継がれ、IIAのさらなる発展につながることを願っております。

IIA設立15周年　祝賀パーティー

2月25日、市川市文化会館ローズルームに130人余の会員を迎えて「IIA設立15周年と記念誌発行を祝う、会員の集い」が開催されました。

成田会長より「設立15周年を迎え、それ以前の長い歴史を経て、今、市民主体のIIAとして活動できていることは、市の協力と先人の方々の努力のおかげであり、この節目に記念誌を発行し、本日皆様と15周年を祝えることは大きな喜びです。今日はチャリテイーの意味も含めての開催です、どうぞ楽しんでください」との挨拶がありました。大久保市長からは、「日頃の協力に感謝するとともに、これからも在住外国人、海外提携都市との交流を通じて、市川市の国際交流行政への協力をお願いします」との祝辞をいただきました。市議会議長の挨拶、来賓の方々の紹介に引き続き、IIAの発展に多大な貢献をされた方々に感謝状の贈呈がありました。受彰者は、笹本瞭前会長、田中洋前副会長、木内弘司元副会長、尾籠鉄夫前監事、片岡直公全日警会長、市川パインツリーライオンズクラブの方々です。受彰者を代表して笹本前会長が挨拶されました。

会員の佐京彩子さんのバイオリンと逸見良枝さんのピアノによる美しい音色を皮切りに（写真左）いよいよパーテイーの開始。スパークリングワインで乾杯の後IIAらしい各国の料理を皿に盛り付けた食事を楽しみながら、会員同士で過去のなつかしい思い出、記念誌の内容などについて歓談しました。食後は会員有志のリードによる歌を出席者一同で合唱、そしてチャリテイーオークションでは、会員持ち寄りのお宝に熱いビッドが繰り広げられました。収益金はIIAの活動に活用されます。お茶とスイーツを楽しみながら最後の演目「セネガル・サバール・ダンズ＆ドラムトーキョー☆ゴルゴル＊」によるアフリカンダンスが始まりました。会員の那須さん率いるダンスグループがダイナミックかつエキゾチックなダンスを繰り広げました（写真右）強烈なドラムの音と激しいダンス、また赤ちゃんを抱いたまま踊るというダンサーもいてに会場は圧倒されました。趣旨に賛同し、会場いっぱいとなるほど集まっていただいた会員の皆様に感謝いたします。そしてこの会が、未来に向けてIIAの益々の発展を誓い合う良い機会となったことを信じたいと思います。

（広報　山本　怜）

イッシー市委員会 最近の活動

料理講習会　12月3日

講師に エンリケ マンザーロさんをお迎えして本場のイタリアン「アマトリチャーナ(トマトソースパスタ)」「イタリアンサラダ」「カルボナーラ」（写真下）の作り方(凄技コツ)を学びました。小倉委員がイタリアで購入したトマトソース(パッサタ)を使用！本格的な味に仕上がりみんな舌賛(!)

またカルボナーラは日本でいう‘卵かけ御飯だ’と知りました！

フランス語講座　12月17日

リエナール フランソワ講師（写真右）による年6回の仏語講座最終日は「お礼を言うなど」を中心にレッスンしました。

ラジオ講座やWebの役立つサイトや無料のフランス情報誌を紹介して頂きました。

（次頁に続く）

世界遺産講座　1月21日

興味津々の受講者

前半は、フランス イッシー市と市川市のパートナーシティーの成り立ちやイッシー市委員会のこれまでの取組み、昨年完成した日本庭園の様子などを紹介。後半は野澤委員長厳選のフランス世界遺産講座です。ラスコー洞窟で有名なヴェーゼル渓谷の装飾洞窟や遺跡、シャルトル大聖堂やパリのセーヌ河岸など、全42件中13件を詳しく解説 有意義な時間を共有しました。

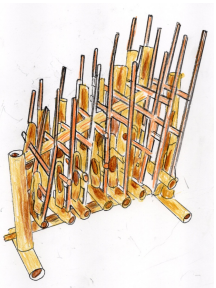
続いて28年度の会計報告・総括と29年度の役員選出 及び計画案について話合いが持たれました。イッシー市委員会は今年も頑張って活動を楽しみながら続ける決意です。皆様よろしくお願いします。　（田所　みや子）

アンクルンってきれいな音色を出すんだね　メダン市委員会

インドネシアのメダン市とは姉妹都市締結して28年になります。その間、市民団の一員として公式団と一緒にメダン市を訪問した成田会長はアンクルンと出会い、竹のかもし出す涼やかな優しい音色にひかれて子どもたちにも聞かせたいと、地元の市立国分小学校に届けられました。どんな風に演奏するのか子どもたちに是非見せたいという先生方の要望もあって昨年12月19日、インドネシアの伝統楽器「アンクルン」（ユネスコの無形文化遺産）の体験教室が開かれました。

教えてくださったのは、インドネシア人の千葉大学留学生6人を含む「千葉インドネシアソサエティ」15人です。6年生2学級52人は体育館に集まり、最初にインドネシアの国や自然について教えてもらい、日本とは違うことを学びました。インドネシア語での挨拶も皆で練習しました。

いよいよお待ちかねの、アンクルンの演奏です。インドネシアの童謡、児童達が知っている日本の曲を演奏してくれました。竹筒でできたアンクルン１つを揺すって１つの音を出します。例えば、ドの音でしたら、ドだけです。曲の中で、自分の音が来た時アンクルンを揺すって音を出します。そして演奏者全員が１つとなり、きれいな音色を響かせます。



伝統楽器アンクルン

みんなでアンクルンを演奏

最後に、児童1人ひとりがアンクルンを持って、「千葉インドネシアソサエティ」と合同で『キラキラ星』と『ドレミの歌』を演奏しました。アンクルンは素朴な楽器ですが、迫力ある音色が体育館に響きわたりました。

児童達の感想

◎　竹の中に、ビーズや小さく音がなる物が入っているのかと思ったら、竹と竹をぶつけて音をだしていると知ってびっくりしました。

◎　合奏は、自分の担当の音がきてから音をだしたらおそいから、前からちゃんと準備しておかないといけないのは大変でした。

◎　音ごとに、竹の長さが違うのかなと思いました。

◎　外国の楽器もすばらしいなと思いました。

インドネシアの国、そして音楽文化を児童達に知ってもらい、異文化交流のお手伝いをメダン市委員会がすることができました。　（青野　雅子）

国際理解教室で逆プレゼン　異文化交流・外国人委員会

2月17日中山小学校で中国、タイ、フィリピン、米国の方々10人を招いて、6年生4クラスによるプレゼンをしてもらいました。いつもは外国人が母国の文化、習慣などを小学生に話すのと逆です。テーマは白神山地、小笠原諸島などの自然遺産、鳥獣戯画や4コマ漫画などとアニメ、尺八、三味線などの和楽器、百人一首、あやとり、独楽などの昔あそび、寿司、そばの和食、などなど内容はとても詳細で、百科事典のようでした。しかもユーチューブ、iPadを使った動画での説明、子供たちのコントでわかりやすくかみ砕いてくれるなど、プレゼンのアイデアも満載です。半年以上かけて用意してくれたチームもあり、とても感激しました。

クイズにこたえるゲスト

日本語を勉強中の外国人にはちょっと難しかったかもしれませんが、子供たちの熱意は十分伝わったと思います。

熱心にプレゼンする小学生

その後、参加した外国人は子供たちと母国のことを話したりし、一緒に給食を食べ、楽しい交流をすることができただけでなく、日本の教育システムを垣間見ることができ、とても喜んでいました。　（篠原　剛）

日本語教室レポート　日本語教室委員会

IIA日本語教室は現在、市内に19あり外国人学習者は約300人、常時100人以上のボランティア教師が熱心に学習支援を行っています。それぞれの教室は週1回から2回の授業を行うほか、学習者の親睦を兼ねた四季折々のイベントを開催しています。今回は行徳公民館で毎週土曜日に開催の日本語教室「こんにちは」からレポートを掲載します。
市川市在住外国人の日本語習得支援という観点から皆様のご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

秋の皇居東御苑散策 ・ 国会議事堂見学

日本語ボランティア「こんにちは」では、11月26日に学習者とその家族36人、ボランティア8人の総勢44人が参加し、秋の「こんにちは」ツアー「皇居東御苑散策・ 国会議事堂見学」を実施しました。
当日は無風、快晴の好天に恵まれ、日本の秋を満喫しました。午前9時に行徳駅に集合、電車はほぼ満員でしたが、心配していた迷子になる人も出ず、無事大手町駅に到着。江戸城天守閣跡を見たあと、二の丸公園の紅葉の美しさにみんな感嘆の声を上げました。二重橋を背に記念撮影をし、桜田門を抜けて国会議事堂へと向かいました。
憲政記念館の庭園で各自持参のお弁当を食べたあと、予定通り12時50分に議事堂裏手の衆議院面会受付所に到着。
移動中、それぞれのお国柄なのかどんどん先に行く人達がいる一方、ゆっくり景色を眺めながら、のんびり歩く人達もいて、先頭集団と最後尾が500メートル余りも離れてしまい、それぞれに付き添ったボランティアは携帯電話で連絡を取り合って誘導するのがたいへんでした。 議事堂内では職員の方にガイドしてもらい、一時間ほど見学することが出来ました。本会議場だけは写真撮影が許可されており、皆さん記念写真を撮っていました。集合写真を撮った後、2時半過ぎに議事堂正門前で現地解散。駆け足のツアーでしたが、皆さん充分に満足されたようでした。今後もこのような学習者にコスト負担があまりかからないイベントを企画して行きたいと考えています。

新年お楽しみ会

充分楽しんだ？新年会、笑顔が印象的

1月29日に毎年恒例の「新年 お楽しみ会」を開催しました。午前10時から11時まで通常通り日本語を学習後、11時から12時すぎまで「新年お楽しみ会」を実施しました。
代表的な日本の歌を学習者に覚えてもらおうということで、「上を向いて歩こう」を練習し、みんなで一緒に歌いました。事前に歌詞（英文訳付き）、楽譜を配っておいたこともあり、最後にはかなりうまく歌えるようになりました。つぎにボランティアが持ち寄った未使用の不要品など50点余りを景品にしてビンゴゲームをして、大いに盛り上がりました。最後に、ジュース、お茶などの飲み物とみかん、お茶菓子で茶話会を開きました。
普段あまり交流のない他のクラスの学習者やボランティアと懇談することができ、親睦を深めるには絶好の機会となりました。
（斉藤 潤）

つくって食べよう世界の料理　異文化交流委員会

1月29日1年でもっとも寒い季節にもかかわらず、10ヵ国40人の仲間が市川公民館調理室に集まり、恒例になった「つくって食べよう世界の料理」の開宴です。
スペインはプロの料理人、ホセさん（写真左下）による本格スペインオムレツ。フライパンに、一杯いっぱいに盛られたジャガイモ入り玉子を空中に舞い上げて混ぜ合わせます。

中学生のコック志望？の元気な娘がこの高難度スキルに挑戦かと思いきや、あえ無く途中棄権。プロにお願いして完成。　ミャンマーはホンさん（写真右）の、匂いでそそられるココナッツヌードル。業務用スーパーで簡単に手に入るようになったと言うココナッツミルクをふんだんに使ってスープを仕上げていきます。部屋中があまーいココナッツの香りで包まれました。

房総すしの出来栄えを披露

そしてわれらが日本は、ピンチヒッターのモリさんこと、森川さんによるバラの花をイメージした房総すし。予告にあったフクさんは風邪でダウン。急ごしらえの助っ人ながら、彼女が又なかなかの料理人。あの金太郎飴のようなお寿司です。今回は市花でもあるバラ。花の赤い部分に味が付けてあるので、見た目だけでなく、味もなかなかのもの。ほとんど全員が作りました。
2時間後、やっと口に入りました。この3種、どれも甲乙つけ難く美味。食べ物の品評は尽きず、食べ終わってもまだまだ話は続きましたが、未練を残しつつお開きに。
その後、10人ほどが集まり、異文化交流委員全体会。今年の総括と来年度事業計画。来期も楽しみな企画がたくさんです。皆さん、異文化交流委員会に期待してください。
（篠原　剛）

第４７回IVISオープンセミナー- 健康な歯と身体の関係」　IVIS

デミアン・アンドリュース氏

IIAの協力団体であるIVIS主催のセミナー-「健康な歯と身体の深い関係」が2月12日に開催されました。「来場者の中に歯医者さんはいらっしゃいますか?」「虫歯のある人はいますか?」「歯医者さんには定期的に行きますか?」等歯切れのよい質問からセミナー-は始まりました。今回の講演者は在住20年以上にもなるオーストラリア人のデミアン・アンドリューズ氏。副題にもあるように「あなたの通っている歯医者さんでも知らない驚くべき真実」とはと何か?来場者は興味津々で講演の開始を待ちました。講演はまずは虫歯ができてしまう理由から始まりました。通常言われているように虫歯菌等のバクテリアが表面に残っているだけでなく、歯のなかの血液に乗って体内にも入っていろいろな悪さをするという。次に、ある年代以上の人は虫歯治療に「アマルガム（つめもの）」を使用されていますが、その材料からは有毒ガスが発生する危険性があります。さらにフッ素は危険性があるとも指摘されました。今迄疑ってもこなかったことが次々に指摘され、口の中の状態と健康とがいかに密接に影響しあっているかが病気の名前を挙げて指摘された。また来場者から歯磨き粉として何を使用したらいいのか?との問いには①重曹②ココナツオイル（抗菌作用がある）を毎日10分以上口のなかに塗る③アフリカの原住民にもある習慣だが、割りばしの先を割って更に柔らかくして、歯を擦り汚れを取ること等を推奨しました。近年定説になってきてはいるが、体のなかは自己治癒装置（self-healing machine）が働くので、むやみに歯を削ったりしないで自然に治癒する力を借りた方が良いとの結論で話を締め括られました。質問時間には積極的な来場者からの意見にアンドリューズ氏は丁寧に答えられ、制限時間の１時間が瞬く間に過ぎてしまいました。来場者の中には年配者や若い方や外国人の方もいらして、英語のみの講演なのに、来場者の議題に対する関心の高さが伺えました。参加者は全体で約60人、昨年と比較しますと少ないですが、充実した時間を共有できたと思います。

講演者から「歯科治療に潜む致命的な危険性」ホメオパシ-出版社や「Nutrition and Physical Degeneration」等の推奨出版物の提示もありました。

（谷辺　順子）

熱心に聞き入る受講者

インド共和国の大学生!! ようこそ 市川市へ（IIA主催）

12月16日から18日まで、外務省招聘事業で、インド共和国の理工系大学生20人が来市し、2泊3日の予定でIIA会員宅にホームステイをしました。

2日目、朝ご飯は、一緒に台所で野菜カレーと具だくさん味噌汁等を愉快に身振り手振りの意志伝達の会話をしながら調理し美味しく食べました。

朝9時頃に永長副会長が、記念写真の撮影のために拙宅に来ました。日本間の座敷の脇床に兜を被った若武者と新年の干支酉の親子の日本人形を飾り「平常心是道」の軸を拝見しながら抹茶茶碗を手に持ち美味しく薄茶を頂いて日本伝統文化の茶の湯体験に感激。その後に3人の大学生は布団を敷いて、湯沸かしポットと3人分のコップと数種類のティーパックと飲み物とスナック菓子、ハンガーにはコートや上着を掛けて、リュックサックを大切そうに枕元に置いて、さながら合宿の雰囲気が充満。

ホストファミリーの佐藤さんと

「ナマステ！ おはようございます～」と合掌し挨拶を交わしてから、撮影をしていただきましたが、その記念写真の仕上がりが楽しみです!!

そして、午前中に、近所の公民館で餅つき大会があると誘ってくれましたが、事前に知っていれば、地域の人達と楽しく交流が出来たことでしょう。残念です。

10時頃に、広瀬ファミリーとインド大学生たち8人で、本八幡駅に集合し、フリーデイの出発!!出だしから、新小岩駅ホーム事故の影響がありましたが楽しい1日を過ごしました。東京駅新幹線ホームでは1時間かけてワクワクする楽しい見学が出来、コンコース内ではユニクロなどで買い物。お昼ご飯は日本橋辺りのインド料理店でホッと一息ついてゆっくり食べてから、高島屋メリーゴーランド見学と三越本館ホールのパイプオルガン演奏と天女像を鑑賞しました。銀座辺りでは歌舞伎座地下仲見世と瓦大屋根と日本庭園散策。銀ブラはライトアップされた歩行者天国で自由に歩くことができました。有楽町マリオンのルミナリエと内装インテリアのイルミネーションは眩しいくらい綺麗でした。最後は東京スカイツリー夜景見学と、盛り沢山な日本伝統文化を体験し年の瀬の東京の中心地を楽しみました。

3日目、午前中はコルトンプラザで買い物、そして、さよならパーティーはインド料理店でした。美味しい料理を堪能し、学生達のインド歌曲の歌声に酔いしれました。

学生達とホスト役のIIA会員は打ち解けあって家族のようです。このような友好的な交流がいつまでも持続出来ますようにとお祈りしました。　（佐藤　和子）

新年イベント花盛り

新年会　　バディーズ

今年最初のバディーズの活動は、市川駅南公民館で1月13日に行われた毎年恒例の新年会でした。

まず、和室でメンバーによるお点前を拝見しながら、抹茶とお菓子を頂き、リラックスした雰囲気の中で、基本的なお茶席の作法を教わりました。背筋をぴんと伸ばして、姿勢を正すと不思議と気持ちも新たになりました。しかし、退席するときに正座になれないメンバーの足がしびれて立ち上がるのに時間がかかるというハプニングもあり、笑いの絶えないひと時でした。この茶席で順番を待つ間、書初めにトライしてみました。テーマは今年の一文字、目標の一言ということで、みんな真剣な面持ちで考え、何を書くか悩んでいました。初めて筆を持つ人も習った経験がある人もお手本なしで自由に書くというのは意外と難しいようです。最初は、緊張して筆が進まなかったのですが、山本会長が先陣を切り、その後、メンバーもそれぞれのやり方で新年の気持ちを表現しました。漢字、平仮名、英語と様々な言語でチャレンジし、中には何枚も書いたり、かなり巧みな筆さばきを披露したりメンバーの新しい一面が見られ、それぞれ個性豊かな作品が出来上がりました。この自由に表現する書初めは大変盛り上がり、あっという間の待ち時間でした。

上手く書けるかな

その後はお楽しみの昼食。年齢も国籍も異なる仲間で話に花を咲かせました。こういう仲間がいるのは幸せなことだなと感じました。盛りだくさんの新年会でしたが、今年もバディーズは意欲的に様々な活動に取り組んでいきたいなと思います。また、笑顔あふれる楽しい一年になりそうです。

（和田　陽子）

お点前拝見

グローバル新年パーティー　　外国人委員会

民族舞踊の衣装で勢揃い

可愛いボリビヤダンス

今年も外国人委員会の一番大きなイベント「グローバル新年パーティー」が1月21日行徳公民館で盛大に行われました。

今年もダンスに歌に料理にと盛りたくさん、昨年より、もっと賑やかに、そしてもっと美味しくなりました。

料理は5ヵ国の8品、歌は6ヵ国の歌をそれぞれ自分の国の言葉で歌いました。優しい尺八演奏の音色や優雅な太極拳に感動しました。民族舞踊はイベントの中で一番盛り上げたところでした。タイの民族舞踊は優しくて民族衣装もとても綺麗でした。ミャンマーの民族舞踊は新年を迎える為のダンスだそうです踊りがしなやかで民族衣装もとても華やかでした。

南米三大カーニバル・ボリビヤのダンスは情熱的で特にボリビヤダンス「カポラレス」を踊ってくれたウリエル君（7歳）とラシエルちゃん（3歳）の踊りはとても上手で可愛くて、会場にいた人達は思わず一斉に拍手をしました。

今年も皆様のご協力があってイベントが最大に無事に終わりました。合計12ヵ国112人参加されました。　（鈴木　迎慶）

ボリビアダンス：カポラス

ミャンマーの民族舞踊

春節で賑わう横浜中華街を訪問　　楽山市委員会

今年は1月28日が旧正月の元旦でしたが、一週間後の2月4日に楽山市委員会で春節に賑わう横浜中華街を訪れました。

先ずは中華街のへそ、「横浜関帝廟」にお詣り。中国の長いお線香を買って、一本ずつ5か所に立てていきます。そしてお堂の中に入って関羽の像に願いをかけます。「祝鶏年快楽」「身体健康」「闔家平安」「生意興隆」欲張って沢山お願いしました。周りは華僑、在住中国人と思われる人が一杯、三拝九拝して真剣にお辞儀をしています。

次は楽しみなお昼をと、昨年の市民団で楽山に行って食べた四川料理が忘れられなくて、四川のお正月料理を期待しました。四川は辛いと言われますがそんなことはなく、どれもとても美味しい料理で食べきれないほどです。

祝舞遊行ﾊﾟﾚｰﾄﾞ

美味しいものをおなか一杯食べたところで、ちょうど4時ごろから料理店の前の道を祝舞遊行パレードが始まりました。すごい音の爆竹に始まってまず龍の踊り、次に高足にのった将軍組、皇帝衣装隊、綺麗なお姐さん方の旗袍（チーパオ）組と続き、有名な孫悟空たちも、そして色とりどりな豪華な10頭もの獅子舞、最後にまた2頭の龍舞とお正月気分満点、たっぷり堪能してきました。

（逸見　総一郎）

シリーズ

わたしの母国、わたしの市川（8）　インド

Mrs. Sonal Karangiya（ソナルさん）のプロファイル

インド出身のコンピュータエンジニアで主婦です。2015年5月に日本に参りました。
現在市川市に住んでいます。1年まえから日本語教室【こんにちは】で日本語を勉強しています。
最近日本語能力試験N４に合格致しました。日本語の勉強はとても面白くて楽しいです。
だから私の夢は日本語能力試験N１に合格したいです。趣味は音楽を聞くこと、料理を作ることと歌を歌うことです。

ボランティアから一言

今年の日本語教室の新年会ではきれいなソプラノで「上を向いて歩こう」を独唱し教室みんなの喝采を浴びました。日本語を通して日本文化をエンジョイしているようでボランティア一同、微力ながらこれからも応援していきます。　ファイト！

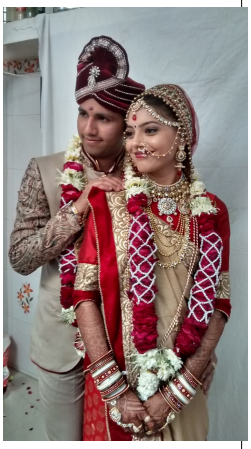
こんにちは、私はソナルです。出身はインドです。
インドは南アジアの国です。この国は、世界で二番目に人口の多い国で、面積は七番目に大きな民主主義の国です。
南インド洋、南西のアラビア海、南東のベンガル湾に囲まれています。
インドはパキスタンと西の国境を共有しています。 北東には中国、ネパール、ブータン、東にはミャンマー、バングラデシュがあります。首都はニューデリーで、その他の大都市にはムンバイ、コルカタ、チェンナイ、バンガロール、ハイデラバード、アーメダバードなどがあります。
私はインド西部のグジャラート出身です。ビジネス文化、最長海岸、アジアライオンで有名です。モハンダス・ガンジー氏とナレンドラ・モディ首相もグジャラート出身です。私たち家族（両親と親戚）は農業を営んでいます。我々はグジャラートの都市であるジュナーガドに大きな農場を持っています。ジュナーガドはマンゴーとライオンで有名です。私たちはピーナッツ、ごま、綿、小麦、緑豆を栽培しています。
現在、市川市に住んでいます。市川市は東京都心から約20キロ離れた千葉県北西部に位置する都市です。東京に近いので、通勤に便利です。JR中央総武線、都営新宿線、東京メトロ東西線、京成線で東京に接続しています。

私は市川がとても清潔で静かなので好きです。生活にも便利で、東京より安いです。市川市役所で日本語を勉強しています。私はすべての先生方と日本人の皆様のご支援に感謝しています。日本人はとても親切で誠実な人です。私は彼らの誠実さと時間厳守に敬服しています。

ソナルさんの故郷には

←ライオンがいる？　　地平線の見える農場がある→

Hello, my name is Sonal Karangiya. I am from India.
India is a country in South Asia. It is the seventh-largest country by area, the second-most populous country and the most populous democracy in the world. It is bounded by the Indian Ocean on the south, the Arabian Sea on the southwest, and the Bay of Bengalon the southeast. It shares land borders with Pakistan to the west. China, Nepal, and Bhutan to the northeast and Myanmar and Bangladesh to the east.
Its capital is New Delhi, and other metropolises include Mumbai, Kolkata, Chennai, Bangalore, Hyderabad and Ahmedabad.
In India, I am from Gujarat. It's the west state of India. It is famous for its business culture, longest seashore and Asian lion. Mr. Mohandas Gandhi and Indian Prime minister Mr. Narendra Modi is also from Gujarat. We belongs to farmer family. My parents and In-laws are farmers. We have a big farm in Junagadh, which is city of Gujarat.
Junagadh is famous for Mango and Lion. We are farming of peanuts, sesame, cotton, wheat and green beans.
Currently I am living in Ichikawa city. Ichikawa is a city located in northwestern Chiba Prefecture, approximately 20 kilometers from the center of Tokyo. Its close proximity to Tokyo makes it a convenient location for commuters; it is connected to Tokyo by the JR Chuo-Sobu Line, the Toei Shinjuku Line, the Tokyo Metro Tozai Line, and the Keisei Line.
I like Ichikawa because it is very clean and quiet. It is also convenient for living and it is cheaper than Tokyo. I am also enjoying Japanese study in Ichikawa City Centre.
I am thankful to all my teachers and Japanese people for their help and support. Japanese people are very kind and sincere.
I am saluting their sincerity and time punctuality.



結婚式の晴れ姿
ソナルさん

2017年度IIA総会・交流会開催のお知らせ

総会		交流会	
日時：	5月 28日（日）10:30～11:30	時間：	12:50～15:30（総会終了後）
場所：	市川市市民会館「全日警ホール」	参加費：	1,000円
議題：	2016年度結果報告、2017年度事業計画	※国際色豊かなアトラクションもあります。すべて予定で変更されることがありますのでHPでの最終確認をお願いします。	
特別講演：	大久保博市川市長（11:30～12:30予定）		
参加費：	無料		

パインツリーライオンズクラブ10周年チャリティー「夕ざり茶会」　IIA

昨年9月24日に幕張にある美浜園でパインツリー10周年記念式典とチャリティー茶会「夕ざり茶会」が盛大に催されました。

記念式典の中で行われたチャリティー基金贈呈式では、春名英徳監事が代表で基金の贈呈（5万円）を受けました。昨年柴又帝釈天で催された春のチャリティー茶会での受贈（5万円）に続き、連続です。

平素IIAは、海外からのお客様をお抹茶で歓迎したり、日本語教室に通う海外の子ども達に実際にお抹茶を点ててもらったりしています。そのほか、多方面で国際交流に貢献していることを評価していただいた結果です。

午後からは、「夕ざり茶会」（夕刻から席入りし、日が暮れていく風情を楽しむ茶会）が催されました。笹本瞭前会長が、パインツリーライオンズクラブ設立時に関与したり、IIA会員である高木敏子前パインツリーライオンズクラブ会長が、姉妹都市先にお茶のお道具を沢山寄付したり、市川市にいらした海外のお客様をIIAと一緒にお抹茶でおもてなしした等の関係で、市川市国際交流協会が席持ちをしました。成田久江会長はじめ、会員11人がお手伝いをしました。

松籟亭で立礼（りゅうれい）（正座してお茶を飲むのではなくテーブルでイスに座ってお茶を飲む作法）をしました。

お見えになった180人弱のお客様は、雨に清められた素晴らしい美浜園の日本庭園を眺めながら、お茶会を楽しまれました。中国からのお客様は、由緒あるお道具にも興味を持たれ熱心に見入っていました。　（青野　雅子）

夕ざり茶会にて

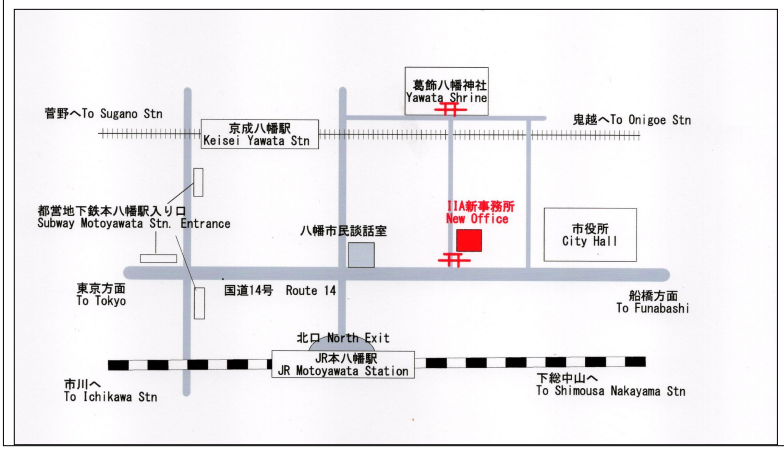
新事務所へ移転完了

前号（62号）でお知らせしたとおり、約10年にわたり使用してきた八幡市民談話室のIIA事務所は、市民談話室の機能変更により3月13日が引き払う期限となっていましたが、3月7日引越し作業を行い、移転を完了しました。

新事務所市川市八幡二－一－七第一藤ビル2階、ＪＲ本八幡駅北口から国道14号線を市役所方面へ、鳥居のある葛飾八幡神宮参道を入り、右側。徒歩で約5分。

なお、引越し作業にご協力いただいた方々に感謝いたします。ひきつづき皆様には事務所をご利用いただくとともに、整理整頓にご協力ください。　（事務局）

電話：047-332-0100、FAX：047-332-0101、
E-mail: info@iia21.jp（いずれも従来どおり）



市川市在住外国人登録者数及び上位10カ国の人数　2017年1月31日現在（ ）内は昨年同月数

①中国	5,880(5,544)	②韓国　※	1,431(1,388)	③フィリピン	1,391(1,342)	④ネパール	875(651)
⑤ベトナム	855　(599)	⑥スリランカ	539　(346)	⑦インド	457　(406)	⑧タイ	442(439)
⑨台湾	313　(325)	⑩米国	236　(224)				

総数107ヵ国　14,512人（108ヵ国 13,212人）　市川市総人口数　480,903人（476,583人）　※朝鮮人76人は含まず

お詫びと訂正

62号IIAニュースに掲載されました「成田山新勝寺・房総の村（日本語教室委員会）」の記事で執筆者の名前に誤りがありました。　誤）西依　章朗　⇒　（正）西依　章郎　お詫びして訂正いたします。